

令和3年3月4日

学生の皆さんへ

副学長	小田切 真
副学長	小田 敏明
短大部副学長	小田 寛人
教務部長	安藤 雅之

### 令和3年度前期の授業について

令和3年度前期授業については、新型コロナウイルスの感染状況、静岡県の対応指針及び本学の行動指針を総合的に勘案した結果、下記のとおり実施することとします。

つきましては、感染症抑止のための基本方針等をお読みいただき、遵守していただきますよう、皆さんのご協力をお願いします。

### 記

#### 本学の新型コロナウイルス感染症抑止のための基本方針

学生・教職員の健康・安全を守ることがもとより、学内外への感染被害抑止が最優先です。そのため、行事の開催等に当たっては、政府専門家会議の提唱する「新しい生活様式」に留意いただくとともに、厚生労働省が示す感染を拡大する次の3つの可能性「3つの密－感染拡大3条件－」が同時に重なることのないよう十分留意してください。

- 換気の悪い密閉空間
- 多数が集まる密集場所
- 間近で会話や発声をする密接場面

本学は、新型コロナウイルス感染症抑止のため上記基本方針に則り、学内外の皆様の健康と命を守るとともに、人権を尊重し、感染者及びその関係者への不利益及び差別的な扱いを禁止します。

#### 1. 令和3年度前期授業の基本方針

2月22日時点における感染レベルは、「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための常葉大学・短大部における行動指針」中、【2-2】の感染拡大期(前期)に該当すると判断しました。

参照:「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための常葉大学・短大部における行動指針」  
[ダウンロード URL]

<https://www.tokoha-u.ac.jp/media/210215-koudoushishin.pdf>

この判断に基づき、前期授業は、原則として対面授業を実施することとし、一部の授業においてはポータルサイト等を活用した遠隔授業を実施することとします。尚、本学の行動指針が「レベル3

以上」となった場合は、対面授業を原則中止してポータルサイト等を活用した遠隔授業で実施することをご理解ください

(1)「行動指針 レベル2-2、レベル2-1あるいはレベル1」の場合

原則として、次の条件の下、対面授業を実施する。

- ・教室の収容定員 70%を超えない座席数が確保できる授業科目
- ・授業形態を考慮して実施できる授業科目
- ・窓や換気扇等で空気の循環が十分に確保できる教室を使用する授業科目
- \* 上記条件等を満たさない授業科目についてはポータルサイト等を活用した遠隔授業とする。

(2)「行動指針 レベル3」以上となった場合

○対面授業を原則中止してポータルサイト等活用した遠隔授業で実施する。

2. 授業の回数及び前期試験について

- (1) 授業は全 15 回実施する。
- (2) 定期試験は第 16 回目に実施する。

3. 対面授業について

(1)対面授業実施科目及び時間割、教室について

対面授業として実施する科目については、各キャンパスの教室環境及び基礎疾患等のある教職員及び学生の意向を十分に考慮して、時間割で示されている曜日・時限・教室において実施します。必ず履修登録科目と照合させ、確認してください。

(2)感染症予防対策について

① 授業前の対策

- ・毎朝の検温を実施して、授業に出席してください。体調に不安があるときには無理をせずに、自宅で休養してください。無理な登校は禁物です。
- ・登下校時を含めて、マスクを常時着用してください。
- ・教室に入る前に教室前においてある消毒液で手指の消毒を行ってください。

②授業時について

1)「密閉」「密集」「密接」の「3密」を避けるため、以下の対策を講じて授業を実施します。授業担当教員も確認しますのでご協力をお願いします。

○「密閉」を避けるための対策

- ・出入口の扉を開放してください。
- ・窓のある教室では窓を開放してください。
- ・換気扇(ロスナイ等)のある教室では換気扇を稼働させてください。

なお、雨又は冷房稼働中で窓を閉める場合は、30分に一度換気を行ってください。

○「密集」を避ける対策

- ・授業では指定された座席に着席をお願いします。
- ・座席指定に当たっては、収容定員の70%を超えないように教室を割り当ててあり、間隔をあけるように×印がついているので、その印のある座席を避けて着席してください。

○「密接」を避ける対策

- ・演習、実技、実習、実験で会話をしなければならないときは、1m以上間隔をあけるとともに、大きな声を出さないでください。

2)その他の対策

- ・授業中の私語は厳禁です。飛沫感染防止に必要なので守ってください。
- ・授業中、体調が悪くなったときには、無理をせず、担当教員に申し出てください。
- ・授業終了後、手指消毒あるいは手洗いを必ずしてください。
- ・授業終了後は「3密」を避けるため、学内に滞留せず、また寄り道せず、速やかに帰宅してください。

4. 体調不良などで欠席する場合について

- (1) 体調不良等、あるいは健康上の不安から対面授業を欠席するときは、必ず授業担当者へ連絡(メールや電話で)してください。当日の連絡が無理な場合には、後日でも構いません。
- (2) 体調回復後、1週間以内に授業担当者へ「体調不良等による欠席届」を必ず提出してください(「体調不良等による欠席届」(参考資料)は大学ホームページからダウンロード、あるいは教務課で配布しています)。なお登校再開にあたっては十分な時間を取って慎重に経過観察をし、絶対に無理に登校をしないようにお願いします。
- (3) 体調不良あるいは健康上の不安から対面授業を欠席した場合は出席として扱います。その場合、課題提出等で学修を補ってもらい、他の履修生との不公平が生じないように対応をします。授業に出席することが目的でなく、授業で学ぶことが目的であることを再確認してください。

[ダウンロード URL]

体調不良による欠席届【静岡キャンパス】(PDFファイル)

[https://www.tokoha-u.ac.jp/media/sizuoka\\_kesseki.pdf](https://www.tokoha-u.ac.jp/media/sizuoka_kesseki.pdf)

体調不良による欠席届【静岡キャンパス】(Excel ファイル)

[https://www.tokoha-u.ac.jp/media/sizuoka\\_kesseki.xlsx](https://www.tokoha-u.ac.jp/media/sizuoka_kesseki.xlsx)

体調不良による欠席届【浜松キャンパス】(PDFファイル)

[https://www.tokoha-u.ac.jp/media/hamamatsu\\_kesseki.pdf](https://www.tokoha-u.ac.jp/media/hamamatsu_kesseki.pdf)

体調不良による欠席届【浜松キャンパス】(Excel ファイル)

[https://www.tokoha-u.ac.jp/media/hamamatsu\\_kesseki.xlsx](https://www.tokoha-u.ac.jp/media/hamamatsu_kesseki.xlsx)

参考資料:体調不良等による欠席届(静岡キャンパスの例)

令和 年 月 日	
体調不良等による欠席届(静岡キャンパス)	
先生	
<学部> 教育学部 <input type="checkbox"/> 初等教育 <input type="checkbox"/> 生涯学習 <input type="checkbox"/> 心理教育 外国語学部 <input type="checkbox"/> 英米語 <input type="checkbox"/> グローバルコミュニケーション 経営学部 <input type="checkbox"/> 経営 社会環境学部 <input type="checkbox"/> 社会環境 保育学部 <input type="checkbox"/> 保育 造形学部 <input type="checkbox"/> 造形 法学部 <input type="checkbox"/> 法律 健康科学部 <input type="checkbox"/> 看護 <input type="checkbox"/> 静岡理学	<短大部> <input type="checkbox"/> 日本語日本文学 <input type="checkbox"/> 保育 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 専攻科音楽  <大学院> <input type="checkbox"/> 国際言語文化研究科 <input type="checkbox"/> 環境防災研究科 <input type="checkbox"/> 初等教育高度実践研究科
学籍番号	氏名
欠席日又は期間	月 日( ) ~ 月 日( )
曜日・時限	曜日 時限
授業科目名	
欠席理由	<b>熱 咳 のど だるさ 健康上の不安 その他( )</b>
常葉大学・常葉大学短期大学部 教務部 教務課 ※ 体調回復後1週間以内に科目担当者に提出すること。	

5. ポータルサイト等を活用した授業について

本学では、令和2年度同様、主に以下の形態を推奨しています。

- ①資料配信型…授業計画に沿った該当部分について、講義資料(パワーポイントなど)を「常葉大学ポータルサイト」やメール等により配信するとともに課題を指示し、このことに対するレポートをメールで提出し、設問の解答、添削指導、質疑応答等により双方向の指導をします。
- ②教科書中心型…授業計画に沿った該当部分について、「常葉大学ポータルサイト」やメール等により教科書を活用した課題を指示し、このことに対するレポートをメールで提出し、設問解答、添削指導、質疑応答等により双方向の指導をします。

※授業内容により、①と②を組み合わせて実施したり、その他の方法で実施したりすることもあります。各科目担当者からの指示に従ってください。

6. 困ったとき等の問い合わせ先↓

- 電話番号： 静岡草薙キャンパス 054-297-6100
- 静岡瀬名キャンパス 054-263-1125
- 静岡水落キャンパス 054-297-3200
- 浜松キャンパス 053-428-3511